



内閣府・外務省・UNDP 共催シンポジウムおよびワークショップ  
**「ミレニアム開発目標達成のための戦略：  
ジェンダーの視点を取り入れたマクロ経済と予算のあり方」**  
協力：国際協力機構（JICA）、国際協力銀行（JBIC）

2015 年までに世界の貧困を半減させることを掲げた国際社会の共通の枠組みであるミレニアム開発目標（MDGs）達成のためには、貧困人口の大多数が女性であるという事実、さらにはその事実に大きな影響を与えている経済・社会構造におけるジェンダー格差の是正に取り組むことが必要不可欠となっています。そこで、内閣府、外務省、ならびに国連開発計画（UNDP）共催により「予算を含むマクロ経済の枠組みにどのようにジェンダーの視点を取り入れ、ジェンダー平等と MDGs を達成していくか」というテーマに関する国際シンポジウムを開催することになりました。

本シンポジウムでは、「マクロ経済や予算はジェンダーに中立的か。中立的でない場合、男性と女性はどのように違った影響を受け、その違いは何に起因するのか」「ジェンダー平等と MDGs という国際的な目標を効率的かつ公平に達成するためには、財源をどのように有効活用すべきか」といった問題につき、国際的に著名な専門家や開発実務者が理論や経験を踏まえ議論する予定です。また、マクロ経済とジェンダー、特に「ジェンダーに配慮した予算」に関する取組みは、1995 年に日本政府の拠出により設立された UNDP / 日本 WID 基金の重点的支援分野の一つです。本シンポジウムでは、同基金が支援したプロジェクトの具体例もご紹介いたします。

シンポジウムに引き続き、「ジェンダーに配慮した予算」の基本的な概念と具体的取組みの事例や導入点に関する日本語の入門ワークショップも併せて開催いたします。

#### 日時および場所

国際シンポジウム：2006 年 7 月 31 日（月） 10:00~16:30（受付 9:30 より）

UN ハウス 5 階 エリザベス・ローズ国際会議場

渋谷駅または表参道駅より徒歩約 10 分（東京都渋谷区神宮前 5-53-70）

ワークショップ：2006 年 8 月 1 日（火）14:00~16:45（受付 13:30 より）

UN ハウス 5 階 コミティー・ルーム 2 および 3

渋谷駅または表参道駅より徒歩約 10 分（東京都渋谷区神宮前 5-53-70）

プログラム :

国際シンポジウム(7月31日開催)

10:00~10:30	開会の辞 西本昌二 猪口邦子 佐藤重和	国連開発計画 (UNDP) 開発政策局長 内閣府特命担当大臣 (少子化・男女共同参画) 衆議院議員 外務省経済協力局長
10:30~11:10	基調講演 ダイアン・エルソ	エセックス大学教授、レビー研究所ジェンダー平等と経済プログラム・コーディネーター
11:10~11:20	質疑応答	
11:20~11:30	休憩	
11:30~12:00	基調報告 セリム・ジャハ	「UNDP/日本 WID 基金の支援によるジェンダーに配慮した 予算プロジェクト：アプローチと成果」 UNDP 開発政策局 貧困削減顧問
12:00~12:10	質疑応答	
12:10~12:40	フィールドからの報告 (UNDP/日本 WID 基金支援による地域別の人材養成 研修のフォローアップとして行われたイニシアティブの現場報告)	
12:40~12:50	質疑応答	
12:50~13:10	午前の部の総括とコメント	廣野良吉 成蹊大学名誉教授
13:10~14:30	昼食	
14:30~16:00	パネルディスカッション モデレーター： 目黒依子 上智大学教授 パネリスト	ダイアン・エルソン エセックス大学教授 岡庭健 外務省経済協力局 開発計画課長 村松安子 東京女子大学教授 セリム・ジャハ UNDP 開発政策局 貧困削減顧問
16:00~16:15	質疑応答	
16:15~16:30	総括	目黒依子 上智大学教授

ワークショップ (8月1日開催、定員 20名)

14:00~14:30	UNDP/日本 WID 基金：実績とイノベーションの紹介 西本昌二 斎藤万里子	国連開発計画 (UNDP) 開発政策局長 UNDP 開発政策局 UNDP/日本 WID 基金担当官
14:30~15:30	「ジェンダーに配慮した予算とは何か。ジェンダー課題達成のための手段となりうるか」 村松安子	東京女子大学教授
15:30~15:45	質疑応答	
15:45~16:00	休憩	

